



令和7年度

丹波すぐれもの大賞

TAMBA INNOVATION AWARD



兵庫県丹波県民局
県民躍動室地域共創課



丹波地域は、四季折々の豊かな自然や、丹波栗・丹波黒大豆といったブランド農産物、日本遺産のデカンショ節や丹波焼、そして恐竜化石など、豊かな地域資源に恵まれ、様々な魅力にあふれています。また、優れた技術で産業界や地域の活性化に貢献している企業や、地域の特色を活かした優れた品質の食料品などオンリーワンの製品が数多くあります。

そこで、地域の将来を担う若者や内外の多くの方々に、これら丹波地域の企業の製商品や取組について、その魅力を発信し、興味や関心を高めていただくとう、「丹波すぐれもの大賞」として顕彰しています。令和4年度からは「TAMBA INNOVATION AWARD」の副題を冠し、より革新性を重視して選考しております。

令和7年度は、「きらめき／プロダクト・イノベーション（製商品）部門」「わくわく／フード・イノベーション（食料品）部門」「ときめき／ソーシャル・イノベーション（観光・交流）部門」の3部門併せて13件の応募の中から、学識者等からなる7名の審査委員による厳正な審査を経て、計7件の「すぐれもの大賞」を決定し、受賞された皆様には表彰楯をお贈りしました。

この賞による顕彰は15年目を迎えましたが、受賞後、全県・全国レベルの表彰に選定された方やテレビやラジオなどのメディアに取り上げられた方が数多くおられます。同じように、この度の受賞が今後企業の発展や製品の販路拡大に繋がることを期待しています。

受賞製商品・取組につきましては、シリ丹バレーの取組の中で、販路拡大支援やPRを行ってまいります。今後も、ぜひ丹波地域の地元企業等の優れた取組に御注目ください。

丹波すぐれもの大賞-TAMBA INNOVATION AWARD- の概要

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するとともに、地域資源を活用した事業やイベントによる観光・交流を促進するため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」による顕彰を行っています。令和4年度からは、地域発イノベーションを推進するため、より革新性を重視しています。

3部門において審査を行い、特にすぐれた評価を受けた企業・団体・個人等を表彰しています。

◆ 表彰部門 ◆

きらめき／プロダクト・イノベーション
(製商品)部門

革新的で高い技術により開発された製商品

わくわく／フード・イノベーション
(食料品)部門

丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品

ときめき／ソーシャル・イノベーション
(観光・交流)部門

地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント

◆ 募集期間 ◆ 令和7年9月1日～10月31日

◆ 審査委員会 ◆ 令和7年12月17日

すぐれもの大賞に選考された製商品等は、パンフレットの作成・配布や県民だよりひょうご、ホームページ等で地域内外へ広く発信し、丹波地域のものづくり産業、観光・交流への関心を高めることとしています。

令和7年度は全体で13件の応募があり、厳正な審査の結果、7件の「すぐれもの」を選出しました。

まず、革新的で高い技術により開発された製商品を表彰する、「きらめき/プロダクト・イノベーション（製商品）部門」です。株式会社タケウチ未来製の『ecoリサイクル土のうミライエ』は、自社縫製工場が発生する端切れを再利用することにより廃棄物を減らし、軽量で扱いやすく災害発生時に迅速に対応できる新しい土のうです。Maru Su Bagsの『LIFE BOX』は、災害時には即座に救命胴衣に変形する、普段使いもできる防災バッグです。身体に固定することにより浮遊体や緩衝体になり、災害から身を守る独創的な商品です。株式会社ささやまビーファームの『篠山精油ハーブウォーター』は、自社栽培のハーブから蒸留したハーブウォーター100%でつくられています。無農薬栽培の原料に、添加物は一切加えていない、体にやさしい化粧水です。

次に、丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品を表彰する、「わくわく/フード・イノベーション（食料品）部門」です。株式会社やながわの『プレミアム 丹波栗のマロングラッセ』は、長年の食品加工技術を活かし、丹波栗のブランド価値と加工技術で世界を目指すというコンセプトの洋菓子です。新たな市場開拓に大いに期待できる商品です。

最後に、地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベントを表彰する「ときめき/ソーシャル・イノベーション（観光・交流）部門」です。一般社団法人X-PORT JAPANの『みんなでつくる秘密基地 Dinosaur Base Project』は、養鶏場跡を都市部と地域の住民がいっしょになってリノベーションした貸し切りキャンプ場です。地域内外の人々の交流拠点として賑わいをみせています。株式会社カケルタンバの『「撮れる」古民家ゲストハウス Mashiro』は、築180年の古民家を活用した、フォトスタジオ兼宿泊施設です。全国・海外からのコスプレイヤーをはじめとした利用者と地域住民の交流や、滞在型観光客の増加に貢献しています。一般社団法人AZEの『ミチのムコウ「100人ではぐくむ名前はまだ無い日本酒」』は、酒米の田植え、収穫などの農作業から酒の名前やラベルまで参加者自身でつくる事業です。耕作放棄地の活用や、都市部と地域の交流人口の増加に貢献しています。

以上、受賞内容について簡単にご紹介しましたが、今回惜しくも選外になった中にも創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には大変素晴らしい企業・団体があることを改めて実感しました。最後に、皆様が今回の受賞を契機にさらなる飛躍を遂げられますよう祈念しまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



表彰式 令和8年2月3日

ecoリサイクル土のう ミライエ

きらめき／プロダクト・イノベーション（製商品）部門



株式会社タケウチ未来製工

株式会社タケウチ未来製工は、兵庫県丹波地域に拠点を置く縫製加工メーカーとして、長年にわたり高品質な縫製技術を培ってきました。園児服をはじめ、産業用資材や安全関連製品など、用途や環境に応じた多様な製品づくりを通して、地域産業の発展とものづくり文化の継承に取り組んでいます。近年、丹波地域で相次いだ豪雨災害をきっかけに、身近な防災の重要性を強く感じ、防災用品の開発にも力を注ぐようになりました。

本年度受賞した「ecoリサイクル土のう ミライエ」は、廃棄予定の繊維資材を再資源化した、環境負荷の低い防災用土のうです。軽量で扱いやすく、収納性にも優れるため、家庭や事業所、自治体備蓄など幅広い場面で活用できます。防水機能を備え、中に水が入ることなく繰り返し使用できるほか、高い耐候性を有し、長期にわたり

常備保管しておくことで、災害発生時にも迅速に家屋や家財の保護に対応できます。さらに、紫外線や汚れを防ぐ保管用防護カバーは、併用することで止水幕としても活用可能です。

また、本製品は地域の就労支援施設「am*am」様の協力のもと製造されており、ものづくりを通じた雇用創出と地域福祉の向上にも貢献しています。今後も地域資源と自社技術を融合させ、誰もが使いやすい防災用品の開発を進め、丹波から新たな価値を発信してまいります。



○
十
廃棄予定の資材を
再資源化の
環境負荷を抑えた、
サステナブルな
防災用土のう。



事業者概要

所在地 兵庫県丹波市山南町大河311-1
 代表者 竹内 真泰
 創業年 1970年
 資本金 300万円
 社員数 14名
 事業内容 園児服・エプロン・婦人服等の縫製加工、安全ベルト等の厚物製品の縫製加工、ecoリサイクル土のうミライエや防災用品の開発・販売
 主な販売場所 本社工場、レストラン山の駅（JR柏原駅構内）
 西村商店、丹波市ふるさと納税返礼品
 問い合わせ先 TEL：0795-77-2086 / FAX：0795-77-2828
 HP（URL） <https://takeuchi-mirai.com/>



沿革

昭和45年4月 タケウチ縫工として創業
 昭和46年5月 園児服の縫製加工開始
 平成28年7月 安全ベルト等の厚物縫製加工を開始
 平成29年7月 株式会社タケウチ未来製工に社名変更
 令和6年8月 端切れを再利用し「ecoリサイクル土のうミライエ」を開発
 「ひょうご産業SDGs推進宣言企業」登録
 令和8年1月 「ひょうご産業SDGs認証事業スタンダードステージ」認証

ライフボックス LIFE BOX



きらめき／プロダクト・イノベーション(製商品)部門



約1分間で
救命胴衣に変形。
しっかり身体にフィット。

マルスバッグ Maru Su Bags

当社は兵庫県丹波市にて、全国のドクターヘリ・ドクターカー・救急車等で使用される救急バッグを、現場のご要望に応じてフルオーダーメイドで企画制作しているバッグメーカーです。

近年水害が多発しています。東日本大震災、能登半島地震、さらには南海トラフ地震や千島海溝地震も大きな懸念材料となっています。他方、毎年発生するゲリラ豪雨による河川氾濫でも多くの命が失われております。そんな様子を見て、「バッグの力で何とか人々を救えないか」という想いが湧きあがり、2年前の能登半島地震をきっかけに開発をスタートした新しい防災バッグが、試行錯誤の末やっと完成しました。

名付けて「LIFE BOX」。フェーズフリーの考え方に沿って、普段は通勤通学リュックとして使いながら、万一の時には約1分間で救

命胴衣状に変形し身体にしっかり装着できます。避難指示が出たらすぐにその状態で高台等へ避難してください。

昨年、複数の学校にて「LIFE BOX」を使った防災授業を行ったところ、大きな反響があり、テレビ・ラジオ・新聞各社で取り上げて頂くことができましたが、今回は丹波すぐれもの大賞を通じてさらに水害の危機にさらされている皆様方へご紹介したく思い、エントリーさせていただきました。一人でも多くの方が万一の水害から逃れますよう祈っております。



事業者概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町柏原34 田中ビル2階
 代表者 細川 晋
 創業年 2017年
 資本金 ー
 社員数 2名
 事業内容 医療救急防災バッグ&障害児向けランドセルのオーダーメイド
 主な販売場所 受注製作のため販売店舗はありません
 問い合わせ先 TEL : 0795-86-8212
 090-2595-3882
 HP(URL) E mail : otr0360@gmail.com
 https://marusubags.deci.jp/



沿革

平成29年11月 マルスバッグ創業
 平成30年6月 丹波市へ移転
 平成31年3月 経営革新計画承認
 令和元年10月 「Maru Su Bags」
 「斜め2本線」商標登録完了
 令和2年3月 令和元年度丹波すぐれもの大賞受賞
 (医療・救急・防災用フルオーダーバッグ)
 令和3年4月 令和2年度ひょうごNo.1ものづくり大賞
 技術部門賞(知事賞)受賞

令和3年4月 令和2年度ひょうごクリエイティブ
 ビジネスグランプリ優秀賞受賞
 令和4年3月 令和3年度丹波すぐれもの大賞受賞
 (ELARC(エルアーク)ポータブル蓄
 電池専用防水バッグ)
 令和6年3月 令和5年度丹波すぐれもの大賞受賞
 (オリジナル簡単軽量ランドセル)
 令和6年5月 スピードボックス 意匠登録済み
 令和7年5月 ライフボックス 意匠登録済み

篠山精油ハーブウォーター

きらめき／プロダクト・イノベーション（製商品）部門



株式会社ささやまビーファーム

ささやまビーファームは、兵庫県丹波篠山市の山あいに拠点を置き、畑や山から得られる原材料をもとにした製品づくりを行っています。養蜂場を母体とし、非加熱の天然蜂蜜をはじめ、丹波篠山の自然環境で育ったハーブや樹木を活かした石鹸やスキンケア製品を製造しています。

原材料の採取にあたっては、環境や自然への影響に配慮し、山の植物は必要以上に採らず、翌年以降も同じ恵みが循環するよう心がけています。畑で育てるハーブも無農薬・無化学肥料を基本とし、自然の力を活かした栽培を続けています。こうした姿勢は、地域の自然と共にものづくりを続けてきた丹波篠山の暮らし方そのものでもあります。

製品づくりでは、効率や大量生産を優先するのではなく、昔ながらの製法や工程を大切にしていま

す。素材の状態を目で見て、香りや感触を確かめながら、一つひとつ手をかけて仕上げることで、素材本来の良さを引き出しています。

「篠山精油ハーブウォーター」は、こうした考え方を象徴する製品です。丹波篠山市内の畑や山で育て・採取した植物を水蒸気蒸留し、得られた芳香蒸留水のみを100%充填した、無添加の化粧水です。精製水や香料、防腐剤を加えず、植物の香りと水溶性成分をそのまま肌へ届けることで、やさしい使い心地を実現しています。丹波篠山に根差した自然と人の営みから生まれた製品です。



○
畑と山の希少な
水蒸気蒸留の
無添加100%の
芳香蒸留化粧水



／
畑と山の恵みを
活かした製品づくり。

事業者概要

所在地 兵庫県丹波篠山市今田町下小野原301-2
 代表者 松村 まな
 創業年 2014年
 資本金 100万円
 社員数 13名
 事業内容 化粧品製造・化粧品製造販売業、養蜂業、精油抽出業
 主な販売場所 丹波篠山本店（北新町）、丹波篠山大正ロマン館、
 こんだ薬師温泉「ぬくもりの郷」、自社オンラインサイト、楽天市場など
 問い合わせ先 TEL：079-506-4163／FAX：079-506-6750
 E mail：info@sasayama-bee.com
 HP（URL） https://www.sasayama-bee.com/



沿革

平成26年1月 現在の丹波篠山市今田町で養蜂業を営む「ささやまビーファーム」として創業
 株式会社ささやまビーファームを設立、製造所オープン
 平成29年10月 化粧品製造・化粧品製造販売業認可
 平成30年2月 「篠山石鹸」シリーズの販売開始
 平成30年3月 「篠山石鹸」シリーズの販売開始
 平成31年3月 三田阪急百貨店期間限定出店（それ以後、西宮阪急百貨店、阪神百貨店梅田本店、近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店などの企画店舗に、多数出店）
 令和元年9月 6月から11月の間6か月連続楽天月間優良ショップ受賞。以降現在までで24回受賞。
 令和2年6月 丹波篠山市役所北側に本店オープン
 令和3年4月 篠山精油ハーブウォーター販売開始
 令和3年11月

プレミアム丹波栗のマロングラッセ



45g超の丹波栗が叶える
+ 極上のマロングラッセ。



株式会社やながわ

株式会社やながわでは、丹波で収穫された特産物を自社の特産加工場にて一次加工し、更にその加工品と地場の産物(卵・牛乳・米・酒・フルーツなど)を活用して和洋菓子の製造販売をしています。「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」は和栗の最高峰である「丹波栗」のブランド価値と加工技術で世界をターゲットとした開発コンセプトの商品です。

やながわは丹波栗の生産地に加工設備を備え、ある程度の製造規模を有しています。丹波栗の加工に関わる時期は2ヶ月余りで、加工技術はその間に磨いていきます。長年の加工に携わってきたノウハウの蓄積こそが、弊社の最も大きな財産です。この度は、その一次加工した特大の渋皮煮を弊社のパティシエが更に手間暇を掛け、その技術力で新たな価値を生み出しました。

「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」の特徴はその大きさにあります。特別大きな丹波栗(45g以上)の渋皮煮をブランド等々の洋酒に糖度を上げながらジッ

クリと漬け込んだ後、乾燥させ更に寝かせる事により表面が糖衣でコーティングされていきます。渋皮煮の製造から最終のマロングラッセが完成するまで手間暇を掛け醸し出した商品です。

ターゲット市場を贈答用、超富裕層とすることで市場は限定され狭められますが、ブランド価値を高めていくためには必要不可欠だと考えています。

それぞれの地域が、持続可能な地域づくりのために模索を繰り返していますが、丹波地域においても農村農地の維持管理が喫緊の大きな課題となっています。丹波ブランドを育み、丹波の地名を全国に知らしめると共に、私たちの暮らしに大きな恩恵をもたらしてくれた丹波栗。グローバル化する時代背景だからこそ、丹波の宝を日本の宝として世界に打っていけないものかと考え、丹波栗の活用が丹波地域の創生戦略に成り得ると信じています。「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」もこのような壮大な夢を叶える切り札の一つになることを願っています。

事業者概要

所在地 兵庫県丹波市春日町野上野209-1
 代表者 柳川 拓三
 創業 1892年
 資本金 1,000万円
 社員数 40名
 事業内容 特産物の加工・卸・販売／和洋菓子製造・卸・販売
 主な販売場所 夢の里やながわ本店・福知山店、丹波やながわ東京春日店
 問い合わせ先 TEL：0795-74-0010
 FAX：0795-74-2010
 HP(URL) <https://tamba-yanagawa.co.jp/>



沿革

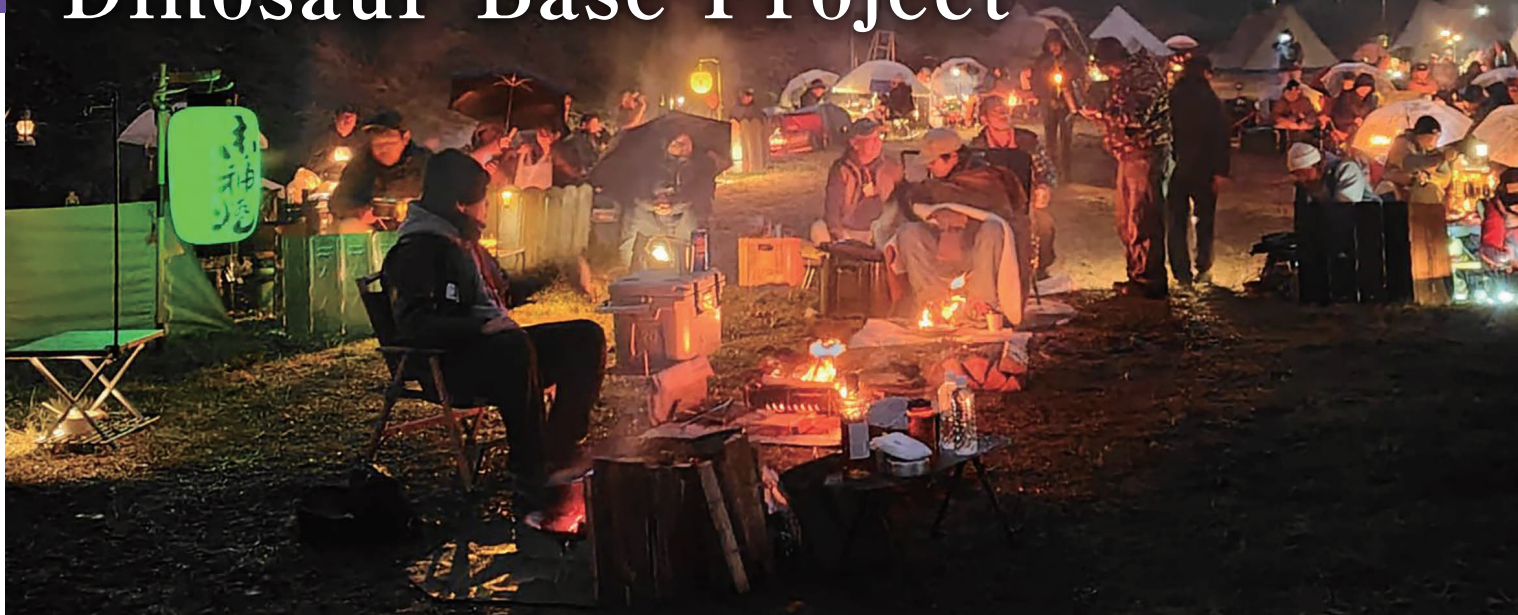
明治25年6月 柳川商店として創業
 昭和53年 やながわ製茶と改名
 平成5年10月 「株式会社やながわ」に法人化
 平成10年 特産加工場を設立
 平成17年10月 夢の里やながわ本店 開業
 平成17年10月 夢の里やながわ福知山店 開業(篠尾)
 平成19年7月 夢の里やながわ福知山店 移転(駅前町)
 平成21年9月 阪神百貨店梅田本店に「TAMBA FU-DO」出店(平成29年3月まで)
 平成25年3月 夢の里やながわ本店 移転して開業
 平成30年9月 「TAMBA FU-DO 東京春日店」東京都文京区に開業
 令和6年8月 「丹波やながわ 東京春日店」として 移転開業(文京区本郷)

みんなで作る秘密基地

ダイナソー ベース プロジェクト

Dinosaur Base Project

ときめき／ソーシャル・イノベーション(観光・交流)部門



クロスポート ジャパン 一般社団法人 X-PORT JAPAN

2020年5月コロナ禍を機に夢だったプライベートキャンプ場作りを始めました。

巨大な養鶏場跡をリノベーションして管理棟施設を作ろうと取り組んでいた途中、台風で飛ばされるといいうトラブルを境に近隣住民が手伝ってくれるようになり「みんなで作る」というコンセプトが生まれました。養鶏場跡を再生した一日一組限定の会員制貸切キャンプ場は1000坪の圧倒的な大空間を自由に使えるのが特徴で、1人で贅沢なソロキャンプ、グループキャンプ、イベント、セミナー会場としても利用されています。「丹波のシベリア」と呼ばれるほど雪深い地域ながらも雪中キャンプができるという魅力の一つ。文明的なものはないけど、キャンプに必要な全てが揃っている。考えたのはこの地域に愛着を持ってもらうためには何が足りないのか？その答えが人と人との

【交流】だったのです。2022年から始めた焚火会は毎年、全国から多くの参加者が集まり、みんなで火を灯す景色は幻想的。

焚火は薪を集め、組んで、小さな火が次第に伝播するように周りに広がっていき、大きな炎となります。

その炎は周囲を照らし、暖め、癒す。ダイナソーベースも人が集まり、タッグを組んで、心に火が伝播することでソーシャルイノベーションを起こしてきました。

地域の資源を余すことなく活用し、キャンプ場だけにとどまらず休耕地・空き家等の活用、多世代の交流を創出し、地域経済の起点を作り続けると共に、丹波の魅力を発信していきます。



事業者概要

所在地 兵庫県丹波市青垣町大名草1095-1
 代表者 伊藤 勇矢
 創業 2018年
 資本金 ー
 社員数 ー
 事業内容 スポーツ・教育・コンサルティング・アウトドアソリューション
 問い合わせ先 TEL : 080-6079-9375
 E mail : xportjapan@gmail.com
 HP (URL) https://dinosaurbaseproject.jp



沿革

平成30年4月	神戸市にて一般社団法人 X-PORT JAPANを創業	令和5年10月	丹波市青垣町に大名草事務所開設
令和2年5月	アウトドアソリューション事業をスタート	令和5年11月	焚火会 #2開催
令和2年10月	神戸新聞掲載	令和6年1月	寒中CAMP2024
令和3年6月	NHK取材：「五国豊穡」地域内外でつながるコミュニティ放映	令和6年11月	焚火会 #3開催
令和4年12月	焚火会 #1開催	令和7年1月	寒中CAMP2025
		令和7年4月	能登応援CAMP2025共催
		令和7年12月	焚火会 #4開催
		令和8年1月	寒中CAMP2026



『撮れる』古民家ゲストハウス マシロ Mashiro



◎
築180年の古民家を
再生した泊まれる
撮影スタジオ。+



株式会社カケルタンバ

築180年の古民家×本格フォトスタジオ。「撮れる」に特化した、表現者のための滞在型拠点。

「撮れる古民家ゲストハウス Mashiro」は、丹波篠山市の静かな山里に佇む築180年の古民家を、コスプレイヤーや写真家、クリエイターのために再生した「宿泊できる撮影スタジオ」です。

最大の特徴は、歴史ある和の空間と、現代的な撮影設備の融合です。

約200平米の広々とした館内には、往時の面影を色濃く残す「純和風の座敷」や「縁側」、「日本庭園」といった撮影スペースに加え、冷暖房や清潔な水回りを完備しています。

自然光が美しい庭での情緒ある撮影から、照明機材やスモークマシンを駆使した作り込んだ撮影まで、天候に左右されず多彩な表現が可能です。また、地域のコミュニティセンターを活用し、更衣室やメイクスペースも完備しており、準備から撮影、宿泊までをワ

ンストップで快適に行えます。

宿泊型であることの価値は、時間に追われないことです。早朝の霧がかかる幻想的な風景や、深夜の静寂の中での撮影など、日帰りでは捉えきれない丹波地域の表情を作品に残すことができます。さらに、当館を拠点に近隣の神社や森林などのロケーションへアクセスすることも可能です。

「好き」を形にするための最高の環境と、180年の時が刻まれた本物の空間。

令和7年度「丹波すぐれもの大賞」を受賞したこの場所で、あなただけの物語を紡いでください。



事業者概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町北中11
 代表者 土田 翔大
 創業者 2025年
 資本金 100万円
 社員数 5名
 事業内容 フォトスタジオの運営、宿泊施設の運営、イベントの企画・運営
 問い合わせ先 TEL : 090-5464-6002
 E mail : forest.studio.tamba@gmail.com
 HP (URL) https://kakerutamba.com/



沿革

令和6年10月 丹波篠山市内にて、「森のフォトスタジオ〜丹波〜」を創業
 令和7年4月 株式会社カケルタンバを設立
 令和7年10月 ゲストハウスMashiroを開業

ミチのムコウ100人ではぐくむ 名前はまだ無い日本酒

ときめき／ソーシャル・イノベーション(観光・交流)部門



◎ 名もなき酒から
始まる里山再生。◎

アゼ 一般社団法人 AZE

「1粒の米から、1本の酒、そして100年後の里山へ」～ 100人ではぐくむ名前はまだ無い日本酒～

お米、ラベル、そして未来。みんなで作る「参加型」の酒造り

お米づくりからお酒のラベルデザインまで、すべての工程を参加者と共に行うプロジェクトです。3月の土作りから始まり、畦塗り、田植え、生きもの観察、稲刈りを経て、秋にはお酒の名前やラベルを決定、12月の開栓式でようやくお披露目されます。このプロジェクトには、毎年延べ500人を超える都市部の方々が参加し、2026年で5年目を迎えます。

地域の「農」と「蔵」が連携し、課題を価値へ変える

単なる農作業体験に留まらないのが本事業の最大の特徴です。地域の担い手である「吉良農園」と地元の老舗「狩場一酒造」が連携。小規模ゆえに耕作が難しくなった

不利地の活用や、酒蔵における新たな製法(瓶内二次発酵清酒)への挑戦など、地域の課題解決と技術成長を両立させています。

1本のお酒が、里山の水源を守る1歩に

お米とお酒をはぐくむのは、白髪岳・松尾山の伏流水です。私たちはこの水源を守るため、事業で得た利益を長期的な農村の担い手育成や里山整備(活動拠点「AZE HOUSE」の運営など)に充てています。お酒を造る喜びを共有することが、荒廃する里山の未来を支える力へとつながっています。



事業者概要

所在地 兵庫県丹波篠山市波賀野705番地1
代表者 吉良 佳晃
創業年 2021年
資本金 ー
社員数 2名
事業内容 農業体験、教育・交流事業、交流拠点の運営
主な販売場所 狩場一酒造等
問い合わせ先 E mail : michinomukou2022@gmail.com
HP (URL) https://michinomukou.org/



沿革

令和4年3月 共創型プロジェクトとして、吉良農園と狩場一酒造が連携し、「100人ではぐくむ名前はまだ無い日本酒」をスタート
令和5年2月 里山の暮らしを考える・学ぶ「Be Satoyama2030」がスタート
令和7年4月 農村・里山との多様な関わりを可能にする交流拠点「AZE HOUSE」がオープン
令和8年3月 5年目の100人ではぐくむ名前はまだ無い日本酒がスタート予定

／ 過去3年間の受賞企業・製商品等 ／

きらめき
(製商品)
部門

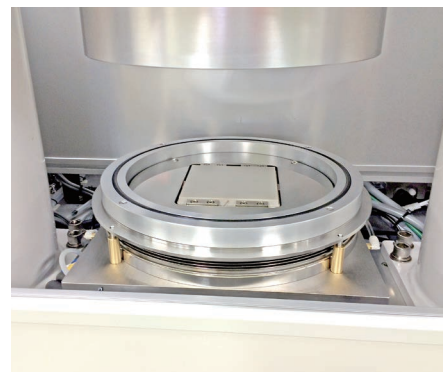
PRODUCT INNOVATION



令和4年度

パナレーサー株式会社(丹波市)

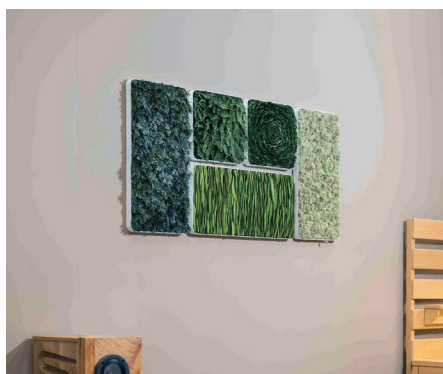
ロード用自転車タイヤ AGILEST(アジリスト)



令和4年度

明昌機工株式会社(丹波市)

次世代パワー半導体デバイス製造装置
シタリング装置



令和5年度

株式会社大地農園(丹波市)

Re:Earth (Icon)



令和5年度

FOREST GROUP(丹波市)

兵庫県産材 100% 使用のバレルサウナ



令和5年度

Maru Su Bags(丹波市)

オリジナル簡単軽量ランドセル



令和6年度

開心窯(かんしんがま)(丹波市)

かまどはん



令和6年度

株式会社藤本林業所(丹波篠山市)
× 株式会社横谷(丹波市)

育てる床Natu:Re (ナチュラル)



令和6年度

フランスベッド株式会社 兵庫工場(丹波市)

「MORELIY®(モアリー)」搭載
スプリングマットレス



わくわく
(食料品)
部門

FOOD INNOVATION



令和4年度

丹波篠山黒豆プリン和み工房(丹波篠山市)

丹波篠山黒豆プリン 5種類アソートセット



令和4年度

株式会社西山酒造場(丹波市)

甘味ヨーグルト



令和4年度

株式会社NOTE JAPAN(丹波篠山市)

丹波篠山旅路のブルワリー



令和4年度

株式会社モーベルファーム(丹波篠山市)

完全人工光植物工場で生産したレタス



令和5年度

株式会社コベクロ(丹波篠山市)

コベクロ丹波黒納豆



令和5年度

株式会社梅角堂(丹波篠山市)

黒枝豆ようかん



令和6年度

狩場一酒造株式会社(丹波篠山市)

秀月 熟成大古酒 時の職人



令和6年度

ソウルプロダクツ(丹波市)

ベジタンパ野菜ジェラート





令和6年度
明正堂(丹波市)
もちたま



令和6年度
株式会社友縁/大連飯店(丹波市)
丹葉日和



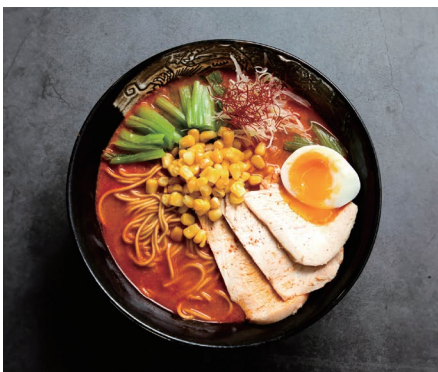
令和6年度
地域の魅力創造企業 ワンステージ(丹波市)
丹波ルエダ



令和4年度
丹波能楽振興会(丹波市)
新丹波猿楽座



令和4年度
株式会社フォレスト・ドア(丹波市)
『森の情報発信基地』
FOREST DOOR - 旧神楽小学校 -



令和5年度
一般社団法人丹波市観光協会(丹波市)
ご当地ラーメンの開発・普及による
観光PR事業



令和6年度
Keny Design Office(丹波市)
Tamba Creative HUB



令和6年度
パナレーサー株式会社(丹波市)
グラベルキングライド in 丹波



過去の受賞製品、受賞後の展開

～3部門各1件、それぞれの特徴と今～

製商品を対象にした「きらめき部門」、食料品を対象にした「わくわく部門」、観光や交流の事業を対象にした「ときめき部門」の3つの部門がある「丹波すぐれもの大賞」。令和7年度を含め計91件の「すぐれもの」を選定しました。その中から、各部門1件ずつ取り上げ、それぞれの特徴と“今”を紹介します。

きらめき(製商品)部門

株式会社オオツキ

ぬっくモーる

わくわく(食料品)部門

株式会社ナカタニ

丹波黒豆肉粽(ちまき)

ときめき(観光・交流)部門

たんばJUNちゃん農園

快汗・共汗・楽農・楽食体験in丹波

令和元年度 きらめき部門受賞

ぬっくモーる

● 株式会社オオツキ ●



「ぬっくモーる」を装着した、生まれたばかりの子牛



丹波すぐれもの大賞を受賞した「ぬっくモーる」

ぬっくモーるは、いわば子牛用のマフラーで、令和元年に商品化。北海道の酪農家から「子牛を温める物を作ってほしい。冬になると子牛が寒さで死んでしまう」との話を聞いたのがきっかけでした。中に炭素繊維を使用したヒーターを入れ、温度は外気温や子牛の体温に合わせて強・中・弱の3段階に調整できます。バッテリー持続時間は、強で11時間30分、中で17時間30分、弱で23時間30分。

低温やけどをしないこと、バッテリーの持続時間をできるだけ長くして手間を省くことに力を注ぎました。開発以来、使用していただいた酪農家から「寒さで死んでしまう子牛がいなくなった」との声を頂いたり、SNS(交流サイト)で紹介してもらったりするようになりました。子牛の体調が悪くなった時だけではなく、「生まれたらまず装着する」商品となることを目指しています。

DATA

所在地 丹波市春日町新才518

事業内容 作業服、各種ユニホーム、作業用品・履物類販売



令和2年度 わくわく部門受賞

丹波黒豆肉粽(ちまぎ)

● 株式会社ナカタニ ●



「丹波黒豆肉粽」は店内で楽しむこともできる

DATA

所在地 丹波篠山市福井26

事業内容 総菜業



丹波すくれもの大賞を受賞した「丹波黒豆肉粽(ちまぎ)」

丹波篠山特産の丹波黒大豆、もち米を使用した、もちもちとした独特の食感の「丹波黒豆肉粽(ちまぎ)」は、大鍋で長時間煮込んで作る台湾南部の伝統製法を用い、熱々の粽に「黒豆醤油ダレ」や「黒豆きな粉」をトッピングする食べ方を、丹波篠山スタイルとして売り出しています。国内では珍しい「本格粽専門店」として、地元の方々や観光のお客さま、全国より通販・お取り寄せのご利用を多

くいただいています。「肉粽」「こしあん粽」とバリエーションも充実。栄養満点の丹波黒豆を一年中、手軽に召し上がっていただけるよう、時代の流れに合わせて冷凍商品化し、店と同じおいしさをご家庭でもお楽しみいただけるようにしました。関西をはじめ、東京、九州などのデパート、百貨店のフェアや催事にも出品。2025年の大阪・関西万博でも丹波篠山の商品として広くPRしました。

令和2年度 ときめき部門受賞

快汗・共汗・楽農・ 楽食体験in丹波

● たんばJUNちゃん農園 ●



焼きおにぎり作りを楽しむため、かまどでご飯を炊いている参加者たち

DATA

所在地 丹波市柏原町柏原3161-1
(農園：丹波市春日町下三井庄 468)

事業内容 農作業を中心にした収穫と
田舎の生活体験



収穫体験を楽しむ参加者たち

都会ではできない体験を求めて訪れる人に、昔ながらの農家の生活が体験できるさまざまなメニューを提供しています。ジャガイモやサツマイモの収穫や、秋には丹波の特産品である黒枝豆の収穫体験を実施しています。かまどでご飯を炊いて近所の養鶏所の卵で作る卵かけご飯や、炭火で焼く焼きおにぎりの試食、原木シイタケの栽培、珈琲教室や蓄音機での音楽鑑賞など、さまざまな体験を楽しんでもらってい

ます。リピーターが多く、畑に寝転んで土の温もりを感じる人や、雨天でも収穫を楽しむ家族もいます。とにかく「楽しんでもらう」が取り組みのベース。都市部から人を招くことで地域を活性化したいとの思いで始めた取り組みですが、コロナ禍で思うような活動が展開できない時期を経て、“ぼちぼち”活動を続けています。ここでしか体験できない空気感を含め、楽しい時間を過ごしていただいています。



丹波すぐれもの大賞
TAMBA INNOVATION AWARD



シリ丹バレー
TAMBA Innovative Challenge